7 月 20-26 日

エレミヤ 18-19 章

---

44 番の歌と祈り | 開会の言葉（1 分）　**大谷優志｜長谷川貴史**

神の言葉の宝

1. エホバとの絆は取り戻せる（10 分）　**田中慶一**

エホバはユダの人たちに，染み付いた悪い習慣を捨てて生き方を変えるよう勧めた。（エレ 18:11。洞「バアル」4 項 23 節）

ユダの人たちは「それは無理だ！」と思っていたが，その考えは間違っていた。（エレ 18:12）

私たちは罪と闘える。無力でも希望がないわけでもない。（エレ 18:7，8。塔研 25.08 23 ページ 11 節）



2. 宝石を探し出す（10 分）　**田中克彦**

エレ 18:6「エホバはこう宣言する。『イスラエル国民よ，私はこの陶芸家がした通りのことをあなたたちに行えないだろうか。イスラエル国民よ，あなたたちは，陶芸家の手の中にある粘土のように私の手の中にある。; 19:10，11 あなたと一緒に行く人たちの目の前で瓶を砕き，11 彼らに言いなさい。『大軍を率いるエホバはこう言っている。「陶芸家の器が砕かれて二度と修復できなくなるように，私はこの民と都市を砕く。彼らはトフェトに死者を葬り続け，葬る場所がなくなる」』。　エホバが偉大な陶芸家と言えるのはなぜか。（洞「陶器師」9 節）粘土に対する陶器師の権限は，例証的な仕方で，個人や国民に対するエホバの主権を表わすのに用いられています。（イザ 29:15，16; 64:8）神を偉大な陶器師とすれば，イスラエルの家は神にとって，「陶器師の手の中にある粘土のよう」でした。（エレ 18:1-10）粘土が自分を成形している者に挑むことなど全く考えられないのと同様，人間は神と争える立場にはいません。（イザ 45:9）土器をみじんに打ち砕くことが可能なように，エホバは悪行に対する処罰として一つの民に破壊的な災いをもたらすこともできます。—エレ 19:1-11。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

3. 聖書朗読（4 分）エレ 19:1-11（教励 第 5 課）　**有田 悟**

野外奉仕に励む

4. 会話を始める　大谷 恵美子 愛込 4-3 米山 京子

（4 分）家から家で。聖書レッスンを勧め，実際にやってみる。（愛込 レッスン 4 ポイント 3）

5. 再び話し合う　吉田 明美 愛込 9-3 大坂 典子

（4 分）家から家で。前回渡したパンフレットを使って会話する。（愛込 レッスン 9 ポイント 3）

6. 信じていることを説明する　阿部 直生

（4 分）話。イ聖 記事 44 主題: 自由意志について聖書は何と述べていますか。（教励 第 20 課）

クリスチャンとして生活する

38 番の歌

7. エホバのもとに戻るステップ（15 分）討議。　星 延宏

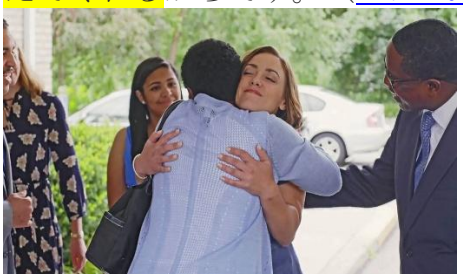
エホバから離れていても，まだエホバのことを愛している人はたくさんいます。でも，どうやって戻ったらいいのか分からなかったり，自分には資格がないと思ったりしているかもしれません。エホバは，そのような人を昔も助けましたし，今も同じように助けてくれます。

永遠の命を目指すレースに戻る時，全ての活動を一気に再開しようと思わなくても大丈夫です。まずは，力を付けましょう。どんなステップを踏むといいでしょうか。

・エホバに祈って，助けを求めてください。（ペテ一 5:7）エホバは力を与えると約束してくれています。（イザ 40:28，29）

・エホバからの教えを，少しでもいいので毎日取り入れましょう。jw.org を見たり，聖句を何節か読んだり，音声版を聞いたりできるかもしれません。食事をすると元気が出るように，信仰を養う食物を取り入れると信仰が強くなります。（詩 1:2，3）

・集会には，できるだけ早く行き始めるようにしましょう。エホバは集会を通して，励まし，支えてくれるからです。（ヘブ 10:24，25）



「生き方を変える決意をしました」の動画を再生する。次の質問をする。

・この動画からどんなことを学びましたか。　信仰の道に戻るのに試練となることを何度か経験しても諦めない。最悪の状況と感じても、その中でも将来に目を向けて素晴らしいことができる

8. 会衆の聖書研究（30 分）勇「統治体からの手紙」，序章　吉田忍｜米山 英行

閉会の言葉（3 分）｜153 番の歌と祈り　大谷 正